

# 小国町立病院外来診療体制

平成27年7月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 鈴木(佑) 石井(康) (週交替)	伊藤 宏	伊藤 宏	熊澤 豊	伊藤 宏
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和) ※肝外来	阿部院長	阿部院長	熊澤 豊 ※検査終了後
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一診	熊澤 豊	伊藤 宏 (予約のみ)	山形大 作田(和)	熊澤 豊	熊澤 豊
				二診		山形大 奥本(和)		山形大 須貝(孝) 豊島(拓) (月1回ずつ)	
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 橋本(多) 安孫子(雅) (週交替)	山形大 荻野(大) 鈴木(康) (週交替)	山形大 佐藤(誠) 佐藤(裕) (週交替)	山形大 目黒(亨) 安孫子(優) (週交替)	山形大 橋本(多) 中村(和) (週交替)
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 丸山(真) (1と3週のみ)	山形大 鈴木(朱)			山形大 本間(龍)
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 竹原(功) 鈴木(聡) 安藤(龍) 松川(淳) 五十嵐(秀) (週交替)
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 柴田(健) 福元(剛) (週交替)				
眼科	午前	8:00-12:30	10:00-13:00						
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30 (15:00まで待合室 にお越しください)			山形大 今野(伸)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:30	13:30-17:00				山形大 成澤(健)		山形大 杉山(元)

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制)	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也 新潟大 濃野(要)	飯田 俊也 新潟大 金丸(祥) 須田(大) (週交替)	飯田 俊也 新潟大 須田(大) 長谷部(大)	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30							

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

## 診療日変更等のお知らせ

※急きょ変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>内科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月29日(水)の作田医師による診療は、休診となります。(代診有)</li> </ul>      | <p><b>眼科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月7日(火)の受付は、午後2時30分までとなります。(午後2時30分まで待合室にお越しください。)</li> </ul> |
| <p><b>整形外科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月1日(水)の受付は、午前11時までとなります。</li> </ul>            | <p><b>歯科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月18日(土)は、休診日となります(振替休日)</li> </ul>                           |
| <p><b>小児科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月10・24日(金)の午後の診療は、町の乳幼児健診のため休診となります。</li> </ul> |   |

# 小国町立病院

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの二丁目1番地  
 ☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115  
 歯科は0238(62)2513(直通)

<http://www.ogunibyoin.jp/>

小国町立病院

検索

# ほっと通信

小国町立病院

平成27年7月1日発行

第21号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

## 心や身体のこと、看護師に相談してみませんか? まちかど医療相談室

相談無料

予約不要

妊娠・出産から子育て支援、生活習慣病や看取りまで健康な時も病気の時も、心や身体についてのさまざまな気かりや問題を看護師に気軽に相談できる場として「まちかど医療相談室」を開設しています。



### 日時

毎月第1・第3木曜日  
 午後2時から4時まで  
 ・7月2日(木)  
 ・7月16日(木)  
 ・8月6日(木)  
 ・8月20日(木)  
 (当番、7月から2カ月間)

### 開設場所

白い森ショッピングセンターアスモ  
 1階ホットコーナー

### 対応者

当院看護師 2名

### 内容

健康チェック(血圧測定)  
 健康相談  
 子育て相談  
 在宅医療、訪問看護相談  
 こころの相談  
 栄養相談 など

## 中東呼吸器症候群(MERS)に注意!

# 海外から帰国されたかたへ

現在、韓国において、中東呼吸器症候群(MERS)の感染拡大が報告されています。次に該当するかたは、**医療機関受診の前に**最寄りの保健所(小国町の場合は置賜保健所)に連絡し、指示を受けてください。また、症状がある間は、他の人との接触を最小限にするとともに、**咳エチケット**に心がけてください。

**38度以上の発熱と咳があるかたで、発症前14日以内に中東地域(サウジアラビアなど)や韓国に滞在していたかた**

置賜保健所 感染症予防担当 ☎ 0238-22-3002

小国町職員(診療情報管理士、看護師・介護員)を募集しています

※詳しくは、当院ホームページまたは総務係(61-1111)まで

「医療の現場から」では、医師や看護師などの医療現場のスタッフから、医療に関する情報をお知らせします。

当院では、部署ごとの業務の他、安全で質の高い看護・医療サービスを提供できるように職種の枠を超えて各種の委員会を組織し業務にあたっています。7月号から各委員会について紹介していきます。

### 情報管理委員会

#### 主な業務

- ・ 電子カルテの維持・管理
- ・ 『あなたの声』への回答
- ・ 『ほっと通信』の発行
- ・ 癒しの園ホームページ・フェイスブック等の運営
- ・ 院内掲示物の管理

電子カルテは、スムーズで密度の高い診療を提供する目的で平成24年4月に導入しました。当初、紙カルテから電子カルテへの移行には多くの課題があり、操作に慣れないため患者さんをお待たせすることもありましたが、徐々に使い方にも慣れ、現在では日々の診療になくてはならないものになっています。

電子カルテに移行したことにより注意すべき点は、電子カルテ自体が停止してしまうことです。その原因は停電や機器の故障など様々ですが、ひとたび障害が発生すると各業務に多大な影響が出て、診療自体を続けられなくなる場合も考えられます。情報管理委員会では影響が最小限になるよう対策を立て、万が一システムが停止してしまった時でも、通常どおり診療できるような訓練も行っています。

また、個人情報管理の重要性を全職員に周知徹底することも当委員会の仕事です。



4月からスマートフォン・タブレット専用のホームページも開設しています

院内情報の発信については、ほっと通信の発行のほか癒しの園ホームページやフェイスブック、院内掲示物などの管理を行っています。院内の出来事や話題、皆さんの健康維持や受診のお手伝いができるよう情報をわかりやすくお知らせしています。

この他、「あなたの声」でいただいた意見や指摘について、当委員会で話し合い、必要に応じ各部署や他の委員会と連携し改善を行います。当院への意見・要望があるかたは、外来待合室と病棟ラウンジに「あなたの声」投稿箱を設置していますので、利用してください。時折いただく感謝やお褒めの言葉も、職員一同の励みになっています。

以上の業務を通して、適切な医療情報の管理と院内情報の発信を進めています。



診療を滞らせることがないように電子カルテ障害対応訓練も行っています

## 子どもたちから元気をもらって ～白百合保育園の園児訪問～

白百合保育園の年長児24人が6月10日（水）に小国町立病院と温身の郷にそれぞれ訪問してくれました。これは、白百合保育園がキリスト教の「花の日」にちなみ、入院患者さんや温身の郷利用者みなさんに早く元気になってもらいたいとの思いから、毎年行っているものです。

元気いっぱいのお歌やお遊戯を披露した後、園児が患者さんや利用者さん一人ひとりに自己紹介をしながら「早く元気になってね。」と声を掛け、自分の名前を書いたティッシュ箱をプレゼントしてくれました。また、施設内に生ける花束もいただきました。



## 偏見を持たず温かい目で見守る

### ～認知症サポーター養成講座～



癒しの園の職員を対象とした「認知症サポーター養成講座」を6月3・10・17・24日(水)の4回行いました。

現在国では、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせるまちをみんなで作っていくことを目指した「認知症サポーターキャラバン」を全国で展開しています。

癒しの園においても、個々の現場で認知症のかたへの直接的な対応が増えており、多様な職種にある各職員が認知症サポーターとしての知識と意識を共有することが求められています。

講座では、町健康福祉課の認知症キャラバンメイトの保健師が、認知症の原因・症状について実例を交えながら説明を行ったほか、認知症サポーターは偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守っていくことが役割であるとの説明を行いました。

## 関係の質の向上を目指して

### ～癒しの園研修会～



山形大学医学部総合医学教育センターの中西淑美先生を6月8日(月)に講師にお招きし、癒しの園及び町内の福祉施設等の職員を対象とした癒しの園研修会を開催しました。

この日は、「医療支援としての関係の質の向上を目指して～医療メデイエーションの紹介～」と題し、患者さんが持つ期待感と受けた結果のギャップによって崩れてしまった信頼関係から生じる様々な問題について、当事者同士が納得のいく結果を得るために対話を重ねることが重要であり、またそのために各職員がメデイエーター（医療対話促進者）の役割を理解して対応していくことで、質のよい医療が提供できるというお話をいただきました。